

＜教科指導＞ 家庭

「身近に感じられる消費者教育の指導」実践報告

愛知県立一宮北高等学校教諭 安藤 政代

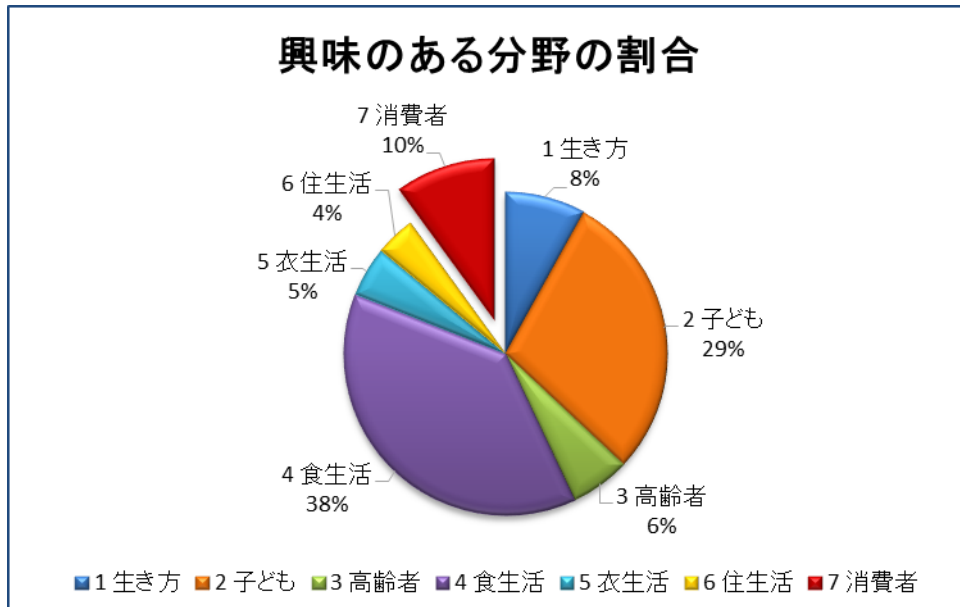
はじめに

教科「家庭科」では、平成21年3月に公示された高等学校学習指導要領での「言語活動の充実」を図り、生きる力を育成していくために、生活における事象を言葉や概念などを用いて考察し、判断が必要な場面を設けて根拠を論述したり、問題解決方法を探求したりする活動を充実させてきた。また平成26年11月に行われた新学習指導要領の諮問では、「アクティブ・ラーニング」の導入が盛り込まれ、生涯を見通して主体的に生きる力の育成が重視された。

本年度、消費者教育研究校の指定を受けた。1年生全員が履修している「家庭基礎」の「消費者として自立する」に関わる分野に興味関心を持たせ、主体的・能動的に取り組ませたいと考え、愛知県県民生活部県民生活課及び県・市町村の消費生活相談窓口等の協力を得て、知識の活用や実践力を高められる言語活動を含むアクティブラーニング等を積極的に取り入れて「身近に感じられる消費者教育」の効果的な授業展開を試みた。

1 実態調査

家庭基礎の7分野についての興味関心度を調査した結果、最も興味のある分野は、「食生活をつくる」で38%、次いで「子どもとかかわる」が29%、「消費者として自立する」は、わずか10%であった。



理由として、「経済は難しい気がする、まだ先のことで興味が湧かない」等の意見と、「日常生活に直結する内容だから興味がある、早く知りたい」の両極端の意見であった。

この結果を踏まえて、以下の(1)から(3)の目標を掲げ、身近に感じられる消費者教育に取り組んだ。内容を充実させるために、愛知県県民生活部県民生活課及び県・市町村の消費生活相談窓口等の協力を得て実践をした。

(1) 消費者教育を総合的に検討し、効果的な授業展開を図る。

- (2) 生徒が主体的に学習に取り組み、消費者の問題を自分の身近な問題として捉え、意思決定や問題解決ができる能力を養う。
- (3) グループ活動等の言語活動を含むアクティブラーニングを活用し、愛知県県民生活部県民生活課及び県・市町村の消費生活相談窓口等の協力を得て授業を充実させる。

2 実践計画

- (1) 社会の変化と消費生活（2時間）・・・K J法，講演会，ロールプレイングを活用
- (2) 消費者の権利と責任（1時間）・・・消費生活情報紙「あいち暮らしっく」を活用
- (3) 持続可能な社会環境（1時間）・・・DVDを活用
- (4) 経済のしくみを知る（1時間）・・・消費者トラブル冊子「お悩み相談室」，ワークショップを活用
- (5) ライフステージと経済計画（2時間）・・・ブレインストーミングを活用

3 実践内容

- (1) K J法，講演会，ロールプレイングを活用した取組

実態調査の結果を踏まえ、「消費者として自立する」の分野での導入にK J法を活用した。

K J法とは、事象をカードに記述し、テーマ別にまとめて図解していき、課題に対する解決策等を生み出していくための方法である。今回は、授業の導入時にグループ分けをし、「消費者として自立する」について連想することを1人3枚以上の付箋紙に自由な発想で記入させ、そのカードを模造紙に貼りつけながら、内容別に分類させた（写真1）。



写真1 K J法の様子

次に、日常生活での消費生活の現状を把握させるために、「講演会」を実施した。愛知県

尾張消費生活相談室から消費生活相談員を招聘し「若者の消費者トラブルを防ぐために～今知っておきたいこと～」をテーマに講演をしていただいた（写真2）。

- ① 消費者相談窓口を知っていますか。
- ② 契約って何だろう。
- ③ 知って防ごう。ネットトラブル。
- ④ 契約トラブルの事例から対処方法を考えよう。
- ⑤ 製品やサービスによる事故にも気をつけて。

等の内容で、実際にトラブルになった事例をもとに講演を進めていただいた。

社会人講師による講演会について、良かったと回答した生徒は78%、あまり良くなかったと回答した生徒は22%であった。良かったと回答した生徒の多くは、「現場の生の声を聞くことができ身近に起こっていることが分かりとても勉強になった」や「相談窓口について、お話いただき対策について考えることができた」等、「消費者と



写真2 講演会

の多様化と消費者信用」について理解を深めさせるために、「5万円の商品を購入した場合の、一括払い、分割払い、リボ払いの支払い総額」を計算させたり、キャッシングでは、「50万円を年利15%で1年間借りた場合の、一括返済と分割返済で完済するまでの期間と支払い総額」を計算させた。具体的な金額を計算させたことで、多重債務の恐ろしさも実感できたようである。

これらの学びを、一方通行的な知識や技術の伝達に終わるのではなく、主体的に参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりすることができるように、各自の考察を共有できるグループを作り、司会者・発表者・記録係を決め、消費者トラブルについて話し合いを行い、その後グループの意見をまとめてさせ発表させた。

正しい知識を持ち、適切な行動ができる消費者市民になることが、安全・安心な社会をつくることにつながることを、ワークショップ活動の中に消費生活情報紙や冊子を取り入れたことで具体的

に理解をさせることができた。

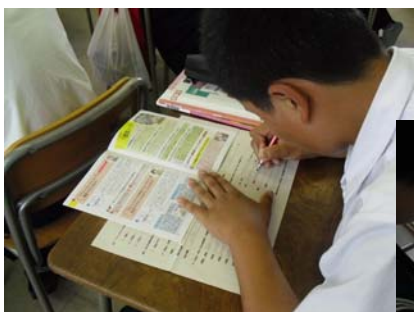


写真6 消費者トラブル冊子

(3) DVDを活用した取組

愛知県消費生活総合センターまたは、尾張消費生活相談室に申込み「消費者教育・啓発用映像教材のご案内」の中から「環境・資源・エネルギー」の分野についてのDVDを活用した。「MOTTAINAIで地球を守ろう」(写真7)は、① 地球規模で考える環境、② 新しい技術が環境を守る、③ 暮らしの工夫が地球を守る、～もったいないから始めよう～の構成になっている。植林活動でノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんそして、アルピニストの野口健さんが、環境問題に取り組む2人の言葉を通して、環境問題を語るキーワード「もったいない」の大切さを訴えかける内容となっている。また、暮らしの工夫が地球を守り、環境問題の原因の多くは私たち自身のライフスタイルにあることが示され、家庭の中で直ぐに実践できる方法を具体的に学ぶことができ、どの生徒も日常生活を振り返り少しずつでも実践していきたいと感想を述べた。



写真7 DVD

(4) ブレインストーミングを活用した取組

ブレインストーミングとは、創造性を開発するための技法で、メンバーが自由に意見や考えを出し合って、より優れた発想を引き出すために行うものである。特に、単元の導入段階とまとめの段階で取り組ませた。(写真8)

「消費者として自立する」の分野を、生徒が主体的に取り組み、消費者の問題を自分の身近な問題として捉え、問題解決ができるように工夫した。

導入で作成した模造紙を再び渡し、「これからの消費生活を充実させるには」について討論させ、体験実習やワークショップなどの演習により身につけた新たな知識や考えについて話し合いを通してまとめさせた。

司会者、発表者、記録係などの各自の役割に責任を持つことや、相互に理解を深められるように促し、発表させた。(写真9)

「今まで多くの体験学習や講演会、意見発表をして、消費者として自立するは身近な問題であることがよく分った。」また、「話し合いを通してまとめて発表することは、将来大切なことだと感じた」等の感想を述べた。どのグループも導入時の発表よりも筋道を立て説得力のある内容で発表することができた。



写真8 意見を出し合う様子



写真9 発表の様子

4 成果と課題

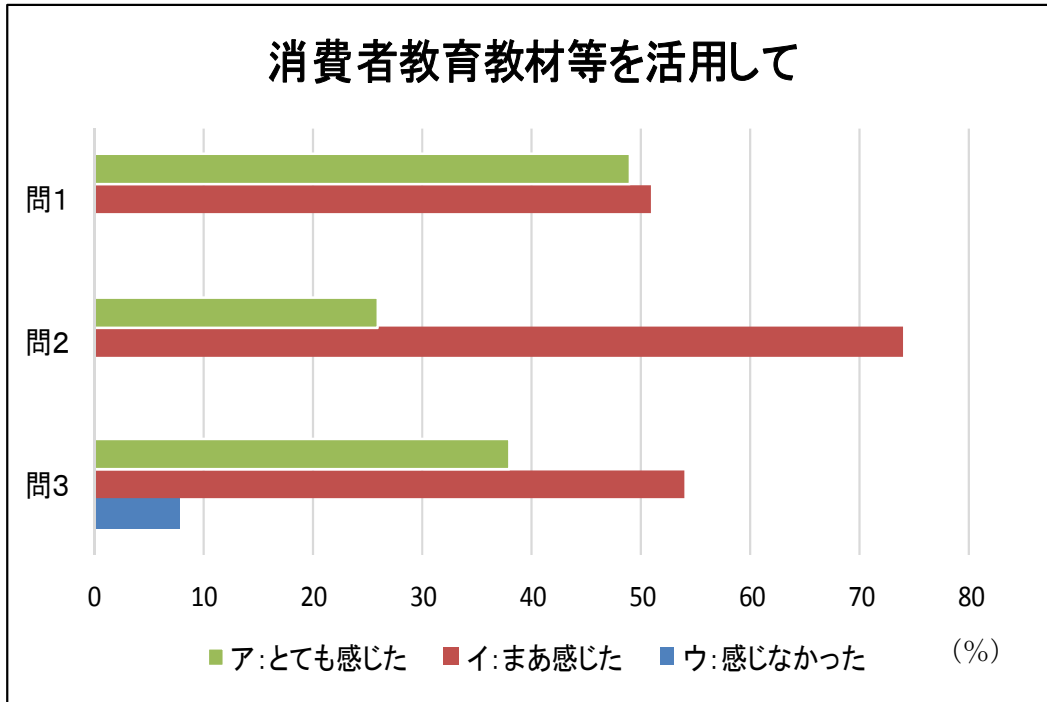
最後に、「消費者教育教材等を活用した授業での学びや感じたこと」について、生徒にアンケートを実施した。以下の3つの質問項目は、今回の授業展開を通してのアンケートである。

「質問1：消費経済は、私たちの身近な内容であると気づき、日常生活に活かしたい。」

「質問2：講義中心型の授業より、内容を具体的に理解することができた。」

「質問3：消費者として自立する、の分野について授業に入る前よりも興味を持てた。」

である。授業展開に対して、グラフの上段から「ア：とても感じた、イ：まあ感じた、ウ：感じなかった」と回答した生徒の割合は以下のとおりである。



アンケートの結果から、今回の取組により、消費生活分野は身近な内容であると全員が感じ、日常生活に活かしたいと感じたことが分った。体験活動を通して消費者トラブルや防止対策、これからの消費生活を充実させるために私たちができることなどを積極的に意見交換し、それぞれのテーマについてまとめ、発表し自信を持たせることもできた。

授業展開の中で活用した消費生活情報紙「あいち暮らしっく」や、消費者トラブル冊子「お悩み相談室」、DVD、講演会などの活用は、具体的に理解を深められるだけでなく、生徒の主体性、能動性、協同性の向上にも繋がり大きな効果が得られたと考える。課題となった講演会については、次年度は各クラスで講演をしていただく予定である。

5 おわりに

本年度、消費者教育研究校の指定を受け、愛知県県民生活部県民生活課及び県・市町村の消費生活相談窓口等の協力を得て授業を充実させることができた。多くの生徒が主体的に学習活動に取り組み、意思決定や問題解決ができる能力の育成、主体的に学ぶ態度の育成に繋がる取組となり大変感謝をしている。

今後は、消費者教育での取組を、さまざまな分野で継続的に実践していきたい。